

市長と語るタウンミーティング実施報告書

担当部	生活環境部（まちの振興課）
テーマ	国立市の商工業振興について
日時	令和2年8月17日（月）20時00分～21時30分
場所	くにたち市民総合体育館 2階 第1・2会議室
出席者	永見市長、黒澤生活環境部長、三澤まちの振興課長、清水商工観光係主査、城戸内主任、山内主任
参加者数	25名（定員25名、事前申込制）、オブザーバー6名
主な意見	<p><商工業全般></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立市には個性的なお店があり、それが国立市の特徴でもある。 ・事業者が生き残っていくためには、それぞれの個性を磨いていく必要がある。 ・国立市の名物をまとめた「ギフトリスト」を作成したら好評だった。 ・Bizができるのは楽しみである。すごく良いと思う。 ・用途地域の関係で、市内の事業所用地が少ないため、企業が成長して規模を拡大しようとする市外へ転出しかねない。 <p><新型コロナウイルス感染症関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーやドラッグストアを除き、大半のお店で売上は減少している。 ・もともと高齢化や後継者等の問題を抱えていた事業者が、コロナの影響で廃業を早めた事例もある。 ・コロナ禍においても、何かできることはないかと知恵を出すことが大切である。（例：テイクアウトマップ、YouTube、新規事業等） ・プレミアム付商品券はプレミアム率30%ということもあり、好評であった。既に支払いで多く利用されている。 <p><商店会関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店会は個店集まりであり、店同士の横の繋がりが重要である。 ・チェーン店が抜けていくことは個人的にはうれしい。チェーン店でも、カフェのような“国立らしい”お店が増えることは歓迎している。 ・商店会の枠を越えた繋がりが重要であり、成功例等を共有したい。 ・市内共通のエコバッグ「(仮)くにたちエコバッグ」を商店会の枠を越えて製作し、販売したい。 <p><要望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の発注する工事も地元企業を優先で考えてほしい。 ・市の職員も市内で消費するという意識を持ってほしい。 ・横断幕「冬のギフトは国立市内で！」を旧国立駅舎に掲げ、旧駅舎内でギフト商品を販売してほしい。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策で会議室の窓を開け、サーキュレーターで換気しながら実施した影響もあり、冷房や扇風機を運転したが会場が暑かった。

当日の様子

